

小学五年

国語

解答と解説

2

問一	選	
	択	
	肢	
	が	
	増	
	く	
	じ	
	て	
	選	
	べ	
	る	

1

問一	ウ	21
問二	②	
	カ	22
	④	
	エ	23
	⑥	
	ウ	24

問七	ア	
	イ	
	ウ	
	エ	
	オ	

問六	A	
	知	
	恵	
	や	
	ス	
	キ	
	ル	
	B	
	評	
	価	
	し	
	て	
	広	

問二	②	
	ウ	35
	④	
	エ	36
問三	今	
	の	
	生	
	活	
	の	
	ウ	37
問四	ウ	
	問五	
	イ	39

問八	ウ	30
問九	イ	31
問十	A	
	エ	
	B	
	キ	32
問十一	に	
	向	
	か	
	う	
	。	33

問三	イ	25
問四	ウ	26
問五	エ	27
問六	ア	28
問七	エ	29

(配点)

①〔問二〕各2点、他各5点
 ②〔問二〕各2点、〔問八〕2点、〔問九②〕8点、他各5点
 ③④⑤各2点

} 計150点

		5		4		3				問九		
								問十		2		
⑥	①	①	①	①	共有		48		点	理	そ	
財政	再演	ア	エ	ウ					。	解	の	
64	59	54	49	50					を	人	自	
⑦	②	②	②	③					深	身	の	
燃費	報告	イ	ア	ウ					め	身	の	
65	60	56	51	57					る	知	識	
⑧	③	③	③	④					こ	知	識	
暴	素材	ウ	イ	エ					と	識	が	
66	61	58	53	58					が	が	が	
⑨	④									で	整	理
浴	仏像									き	理	さ
67	62									る	さ	れ
⑩	⑤									と	れ	て
絶	税率									い	て	、
68	63									う	、	、

〔解説〕

1 重松清の『カレーライス 教室で出会った重松清』所収「ドロップスは神さまの涙」(新潮社)から出題しました。口は悪いけれど、「わたし」の気持ちを尊重してくれ、見守ってくれるヒデお婆のやさしき、いじめに遭っている「わたし」の心情を読みとりましょう。また、ヒデお婆と細川先生が対照的に描かれていることにも注目しましょう。

問一 B1 具体化 比較

② を含む文に「ヒデお婆は相手の名前を口にして…」と電話の相手がわかったことが示されているので、ここ以降のヒデお婆と「わたし」の会話を読んでいきます。そこには、「細川先生、教室に來なさいって言ってるんですか?」『そりゃあね:』とあることから、答えはウになります。ア「ヒデお婆に『わたし』のことをたくす」、イ「自分のせいではないと訴える」エ「仮病を許し」「怒りの電話」の部分が本文とあいません。

問二 B1 関係づけ 比較

② を含む一文に「口にしてしまった」とあるので、「うつかり」「思わず」という意味の「つい」があてはまります。④ の直前の文の「…さびしくない」を受け、「…たっちゃんが:言うから、④ さびしくない」と「さびしくない」が繰り返されていることから、ここには「もつと」があてはまります。⑥ ヒデお婆は、会話をしているこの間、ずっと机の上の消しゴムのカスを払って(払っているふりをして)います。ここから、ヒデお婆がベッドの方にいる「わたし」

を見ずにしゃべっていることがわかります。よってここには「やつと」が入ります。

問三 B1 具体化 比較

線③の直前の会話でヒデお婆は、「あんたがいたい場所にいさせてあげただけだよ」「ほっといただけ」「自分のことは自分で決めなさい」「あんたがそうしたいんなら、そうしなさい」と言っており、言い方は冷たいですが、これらはすべて「わたし」の意思を何より大切にしていることがわかる言葉です。いじめられている「わたし」にとって、居場所を用意してくれ、気持ちを大切にしてくれる言葉をかけてくれるヒデお婆はとてもありがたい存在です。このことから考えましょう。

問四 B1 関係づけ 比較

「わたし」の⑤のセリフを受けて、「頭とおながが同時に痛くなる子は、たいがいそうだよ」「なんで意地悪っていうの? そういうときの言い方は知ってるでしょ」と言っていることに注目すると、「わたし」が、クラスでいじめに遭っていることを「意地悪」だと表現したことがわかります。

問五 B1 理由 比較

線⑦の直前でヒデお婆は「わたし」がされているのはいじめだ、と指摘していることに注目しましょう。線⑦の二文後に「いじめ——なんだ。わたしは、みんなからいじめられているんだ」とショックを受けていることがわかります。もちろん「わたし」も自分がされているのは「意地悪」

だと思っっているわけではありません。どうしても「いじめ」だと認めたくなかった、しかし、客観的にそれは「いじめ」だと指摘され、見たくない事実を突きつけられたようでショックだったのでしよう。アいじめられた理由を知られていたから、どきりとしたわけではありません。イヒデおばはいじめられることに理由があるとは指摘していません。ウ「意地悪されている」の部分が不適切です。

問六

B1 具体化 比較

——線⑧の直前でヒデおばはだまってドロップスをくれています。「悲し涙」、「悔し涙」はドロップスのことです。ですから、——線⑧の「悔し涙になった」は、悲しい気持ちから悔しい気持ちになった、ということでしょう。いじめに遭っているという事実を認める、とはヒデおばは言いません。ただ「わたし」の身におこっていることはいじめで、ドロップスをあげることで、それは「悲しい」ことだよ、と伝えるだけですが。いじめにあっていると認めることは、自分の中の「悲しい」という気持ちを認めることです。ドロップスをなめながら、その気持ちを認めるうちに、なぜ自分がこんな目にな、という悔しさがわいてきたのだと考えられます。イ「誰からも理解されない」「戦わず逃げたことを悔しく思う」、ウ「それを認められなかったために先生にいじめをとめてもらえなかった」エ「いじめに立ち向かう強さを持たなかったことが悔し(い)」などの部分が誤りです。この時点の「わたし」はいじめにあっているということ認めるのもつらい状態だったので、いじめに立ち向かいたい、戦いたかった、という心情までいくとは考えられません。

問七

B1 具体化 比較

——線⑨の直後で、先生がクラスの子たちからの手紙をプレゼントのように出していることに注目しましょう。細川先生は、学級会でみんなに手紙を書かせたのいいことをしたと思っっていることがわかります。そして「わたし」の気持ちなど聞こうともせず、一方的に話し続け、——線⑩の八行後からのセリフで、「いつまでも黙ってるわけにはいかないですよ。来月には保護者会もあるし、個人面談もあるんだから、それまでには教室に戻ってない」と言っっていることから、保護者の目があるから、「わたし」の保健室登校をやめさせたと思っっており、そのために手紙を書かせたということがわかります。ア「自分や、クラスみんな」とありますが、細川先生は自分も悪かったと思っっています。イ「ヒデおばの鼻をあかせるとほくそ笑んでいる」とまでは読み取れません。これはあくまで「わたし」に向けてのふるまいです。ウ「わたし」も安心して「喜んでいゝ」とありますが、細川先生は「わたし」の安心を望んでいるというよりも、「教室に戻って」くることを望んでいます。

問八

B1 理由 比較

——線⑩の直前に「先生の声が：遠ざかる」とあるので、『わたし』が先生の言うことを受け入れられない、という気持ちになっっていることがわかります。ここで、細川先生はヒデおばと対照的に描かれていることに注目しましょう。ヒデおばは、口は悪いですが、「わたし」の気持ちを大切にし、その選択によりそって、居場所を提供してくれます。一方、細川先生は一生懸命で優しそうですが、その行動は、「わたし」の気

持ちやクラスのみんなの気持ちを無視して、自分の都合をおしつけるものです。手紙の件でそのことに気づき、「わたし」は「後ろに引っぱられていく」、つまり拒否感を覚えたのだと考えられます。ア「教室には戻りたくない」とありますが、これはあくまで細川先生に対する気持ちの表現です。イ「細川先生を信頼しかけていた」の部分が不適切です。工建設的な話をしないから引いたわけではありません。

問九 B1 具体化 比較

これまでの流れから、絶対に手紙を受け取りたくない、謝ったふりをされるのも、その謝罪をなくすしに受け入れることもしたくないという気持ちから、「わたしは背中を激しく揺すってランドセルの蓋を持つ先生の手を振りほど」いたのだと考えられます。また、――線⑩の直後に「：保健室に向かった」とあることから、一刻も早くこの場を立ち去りたい、自分が安心できる場所に行きたいという気持ちが読み取れます。ア「先生に考え直してもらいたい」とありますが、「わたし」は細川先生に強い拒否感を抱いており、何も期待していません。ウ「いじめを解決しようと動いてくれたことは感謝」の部分不適切です。エ「細川先生のいる学校から逃げ出したい」の部分不適切です。このあと「わたし」は保健室に向かっています。また、「細川先生の執念におそろしさを感じ」という文言も少しおおげさな表現です。

問十 B1 具体化 比較

「ドロップス」は、いじめのことを話したときにももらえませんでした。また、最後の行に「ドロップスをなめたい」とありま

すが、この時「わたし」は、保健室に向かつており、ヒデオはのいる保健室に行きたい、今のやりきれない気持ちをわかっけてくれる人のところに行きたい、という気持ちであるとわかります。このことから、ドロップスはどうしようもないやりきれなさやつらさを感じた時にもらえるもの、問題を解決できるものではないけれど、その問題があることを共に悲しみ、よりそってくれる人がいることを示すものだと考えられます。これは、「ヒデオは」の「やさしさ」のあらわれだと考えられます。「ドロップスをなめたい」とあるので、「かなしみ」を選ぶのは不適切です。

問十一 B1 関係づけ

脱文挿入の問題では、まず指示語や接続語に注目しましょう。今回の場合「そこで待っていた」の「そこ」です。ですから、細川先生が待ち伏せしていた場面から、場所が明示されている部分を探せばよいということになります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

2

汐見稔幸『人生を豊かにする学び方』（筑摩書房）から出題しました。**A**の文章では、自分自身が自由になるために学ぶ、ということが説明され、**B**では、共同・協力して学びを深めることが大切だということが説明されています。この文章における「自由」の意味、「文化」と「共同・協力」の関係を正しく読みとりましょう。身近な具体例を出しながら論理が展開されています。

問一

B1 具体化 関係つけ

この文章における「自由」は、七ページの下段、「このように」で始まる段落にまとめられています。そこには「このように」選択肢が増え、目的に応じて選べることを『自由』と言います」とあります。まとめや言い換えであることを示す接続語である「このように」「つまり」「ですから」などで始まる文に注目し、文章を読むくせをつけましょう。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問二

B1 関係つけ 比較

接続語の問題では、前後の文の関係や前後の段落の關係に注目します。**②**の後から突然、山を越える方法を知らないがために、狭い村にとじこもっておかざるをえない、という話になっていますから、この部分は例だと考えられます。

④の前では、「新天地での生活を営む可能性を手に入れた」とあり、後で「目的に応じて、いろんなところにも出かけられるようになつ」とあるので、「そのうえ」と同じ意味である「さらに」があてはまります。

問三

B1 具体化 関係つけ

線③の直後の段落は「これはつまり」で始まっています。この段落がその前で書かれていたことの言い換え・まとめの段落だとわかります。そこを読むと、「狭い世界の中に閉じ込められていた」と同意の表現である「今の生活の枠から一歩も外に出られない」を見つけられます。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問四

B1 具体化 関係つけ

線⑤が含まれる文は「たとえば」から始まっていますので、その直前の段落で書かれたことの例だとわかります。そこには、「共同・協力する力」というのは「一緒に喜び合える力」であり、この力があるからこそ、生きていて楽しいと思える」とありますから、この文と同意の選択肢を選びます。エは内容が「幼い子」についてにしか触れられていませんので、ウの方がふさわしいといえます。

問五

B1 具体化 比較

線⑥が含まれる文は「そうしているうちに」からはじまりますので、この直前に書かれている内容「わずかな水や食料しか持たないで：みんなで一緒に何かに取り組んで、互いに喜び合う。困っている子がいたら、みんなで助ける」の部分と同意の選択肢を探します。そこにいるメンバー全員で助け合いながら困難を乗り切るということが示されているのはイです。ア・ウ協力するということが触れられていません。エ「あえて準備をいい加減にしておくこと」の部分が不適

切です。

問六 **B1** 具体化 関係づけ

文化について説明されているのは、——線⑦を含む段落と、その前後の段落です。そこには、「文化は：長い歴史の中で生み出されてきた人々の知恵やスキルをどれだけの人々とどのようによく共有するかと努力の中で生み出されたもの」「ですから、文化というのは、いろいろなことを編み出す人と、それを評価して広めていく人との共同作品」だとあります。この内容をリード文と重ね合わせ、空欄にあてはまるように、言葉をぬいていきましょう。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問七 **B2** 具体化 比較

——線⑧の直後から始まる例は、——線⑧を含む一文、「文化の象徴である知識・学問・芸術・スキルを学ぶとき、『僕だけがわかればいい』というのは、正しい文化の伝え方ではない」ということを説明するための例です。ですから、この例の部分から、「正しい文化の伝え方」とはどんなものかを読みとりましょう。そこには、「共に語り合う、ときにディスカッション」しながら共に学び、共に賢くなる、文化的になる、と書かれています。ア「それができるのは自分だけ」、エ「同じ知識レベルの仲間が集まり」の部分が誤りです。

問八 **A2** 知識 比較

「さもしい」とは、考え方がきたない、いやしいという意味

です。

問九

1 **B1** 置換 関係づけ

「学ぶことを、個人主義化」するとは、自分の中だけに知識を溜めこむことです。その反対は、得た知識を教えあったり、議論したりして学びを深めていくことです。本文中ではそれを、「学びを共同化していく」と表現しています。「個人主義化」と反対の意味になる言葉は何か、というところに目をつけて探すとよいでしょう。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

2 **B2** 具体化 推論

学びを共同化することで、「その人自身の知識も整理されて、理解が深まる」とありますから、この二点をおさえて記述するようにしましょう。また、「どのようない点が」と問われているので、文末は、「く点。」で終わるように解答を作りましょう。

※設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点3点とします。

問十 **B1** 関係づけ

本文中では繰り返し、自分の知識を教えあい、議論していくことの大切さを述べています。知識をみんなで持つことを、

本文中では「共有」と表現しています。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

3 **A2** **知識**

似たような語の使い分けの問題です。知らなかった語や使い方が分からない語はきちんと確認しておきましょう。

- ① はしたない：下品である。つつしみが無い。
- ② 書きたてる：新聞や雑誌などで目立つようにさかんに書く。
- ③ 水をあげる：競争相手を大きくひきはなす。
- ④ 乗りすぎす：降りるところより、先まで乗ってしまう。
- ⑤ 切りひらく：努力してよい状態を作り出す。

4 **A2** **知識**

敬語の問題です。相手側の行為には、尊敬語・自分側の行為には謙譲語を使います。その語の主語にあたるのが自分側の人間か、相手側の人間かをとらえましょう。

- ① 「いる」か聞かれているのは「お母さま」です。この「お母さま」は相手側の人間なので、ここは尊敬語の「いらつしやいますか」を使います。「いらつしやる」に尊敬の助動詞「れる」をつけるのは二重敬語ですので誤りです。

- ② 絵を見たのは自分ですから、「見る」の謙譲語である「拝見する」を使います。

- ③ 受け取るのは相手ですから、尊敬語のお願いする形、「おください」を使います。よく「いただいでください」という使い方をしますが、「いただく」は「もらう」の謙譲語ですから、これは誤用です。

- ④ 鈴木、と呼び捨てにしていますから、この鈴木さんは自分側の人間だと考えられますので、謙譲語を使います。

- ⑤ 電話をするのは、自分側の人間ですから、謙譲語の「さしあげます」を使います。